

臨床研究「放射線治療、陽子線治療中の異常感覚に関する多機関共同前向き観察研究」について

筑波大学附属病院放射線腫瘍科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

放射線治療や陽子線治療を照射中に、光や臭いを自覚する事が知られている。原因としてはチェレンコフ光やオゾン臭などが挙げられているが、放射線治療や陽子線治療との関連性は明らかになっていない。臨床的には良く知られた現象だが、基本的には不快である以外に実害は無いと考えられているため詳細な解析は行われていない。本研究では、放射線治療もしくは陽子線治療と照射中の光やにおいの関係性を明らかにする。

② 研究対象者

臨床研究参加施設で放射線治療もしくは陽子線治療を受けた患者さん。

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2023年12月31日まで

④ 研究の方法

放射線治療もしくは陽子線治療中に感じる光とにおいの評価をチェックシートで行う。

データは氏名や住所、カルテ番号などの個人を特定する情報とは切り離れた情報のみ使用する。

⑤ 試料・情報の項目

診療情報(光・臭いチェックシート、放射線治療・陽子線治療の治療計画)

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

提供なし

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

櫻井英幸 筑波大学附属病院 放射線腫瘍科 教授

⑧ 研究機関名および研究責任者名

筑波大学附属病院 櫻井英幸、つくばメディカルセンター 大城佳子

国立成育医療研究センター 藤浩

神戸陽子線センター 副島俊典

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：放射線腫瘍科 担当 水本斉志

電話：029-853-7100（平日9～17時）